

令和6年度事業計画

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 基本方針

当社は、「重度障がい者多数雇用」を目的とし、働く意志と能力を持ちながら適職や職場環境に恵まれない人々に安定した職場と雇用を確保・促進するために、滋賀県と彦根市およびパナソニック株式会社の3者による第三セクター方式によって、平成6年8月に設立された。

会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を目指す。

具体的には、障がいのある人とない人が共に協力し合い、「個人の自立・職場の自立・仕事の自立・経営の自立」の4つの自立を標榜し、みんなの幸せと会社の繁栄の実現を目指す。

2 事業計画

(1) 製造・販売事業

ア 電子回路を中心に電器機能部品の製造およびこれらの販売を行う。

イ アに付帯し、または関連する一切の事業を行う。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上を図る。

(ア) パナソニック株式会社モノづくり競技大会への出場と入賞

(イ) パナソニックグループモノづくり競技大会への出場と入賞

(ウ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀）への出場と入賞

(エ) 全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）への出場

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行う。

ウ 障がい者の採用確保に向けた体制の維持・強化を図る。

(ア) パナソニックグループ内特例子会社との情報交換

(イ) 特別支援学校や就労支援機関との採用に関する連携

（『湖東地域障がい者雇用に関する連絡会議』への参画および実習受入）

(ウ) 近隣の高校での障がい者の在籍状況ヒアリングおよび会社紹介

収 支 見 込

自 令和 6 年 4 月 1 日

至 令和 7 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
1 売 上 高				
親 会 社 売 上 高	4,786,051	4,405,868	380,183	
売 上 高 計 (A)	4,786,051	4,405,868	380,183	
2 販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費				
材 料 費 等	4,183,528	3,798,132	385,396	
消 耗 工 具 費	23,952	17,310	6,642	
人 件 費	338,578	354,598	△ 16,020	
償 却 費	69,375	74,678	△ 5,303	
そ の 他 費 用	174,864	172,216	2,648	
販 売 費 お よ び 一 般 管 理 費 計 (B)	4,790,297	4,416,934	373,363	
3 営 業 利 益 (C)=(A)-(B)	△ 4,246	△ 11,066	6,820	
4 営 業 外 収 益				
受 取 利 息	360	360	-	
そ の 他 営 業 外 収 益	40,440	39,960	480	
営 業 外 収 益 計 (D)	40,800	40,320	480	
5 経 常 利 益 (E)=(C)+(D)	36,554	29,254	7,300	
6 税 引 前 当 期 純 利 益 (F)=(E)	36,554	29,254	7,300	
7 法 人 税 等 (G)	11,149	8,893	2,256	
8 当 期 純 利 益 (H)=(F)-(G)	25,405	20,361	5,044	

令和5年度事業報告

パナソニックアソシエイツ滋賀 株式会社

1 事業概要

当社は、会社は社会の公器であるという考えのもとに、全員参加による経営により、障がいのある人もない人も、一体融和して仕事を分担し、仕事の能力、スキルに応じた公明正大な運営を推進した。

令和5年度は、日本経済の緩やかな持ち直しに伴い、販売が回復し、対計画101%、対前年度111%と伸長した。経常利益については、人件費や原材料費の高騰や電力料金の高止まりの影響が大きかったものの、生産性向上やコスト低減に努めた結果、計画、前年度共に上回った。

2 事業実績

(1) 製造・販売事業

電子回路を中心に電器機能部品の製造・販売を行った。

(2) 障がい者雇用の推進

ア 障がい者の雇用の確保および能力の向上に努めた。

(ア) パナソニック株式会社モノづくり競技大会 9名出場 2名入賞

(イ) パナソニックグループモノづくり競技大会 3名出場 1名入賞

(ウ) 全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック） 1名出場 1名入賞（銅賞）

(エ) 滋賀県障害者技能競技大会（アビリンピック滋賀） 3名出場 2名入賞（金賞・銀賞）

(オ) 障がい者の入社 新規採用 2名

(カ) 厚生労働省によるユースエール企業認定継続

(キ) 厚生労働省による2022年度もにす企業認定継続

(ク) 優秀勤労障害者 滋賀県知事表彰 1名受賞、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞 1名受賞

イ 就業体験実習、工場見学の受入を行った。

(ア) 就業体験実習の受入 42名（延べ人数）

(イ) 工場見学の受入 176名

ウ 働く意思と能力のある障がい者を探し出し、雇用につなげる活動を行った。

(ア) 全国障害者雇用事業所協会滋賀ブロック会議を通じた障がい者雇用に関する意見・情報交換

(イ) 湖東地域障がい者雇用に関する連絡会議への参画

(ウ) 主に近隣の高校での障がい者在籍状況等について、先生と情報交換の実施

11校を訪問

損 益 計 算 書

自 令和 5年 4月 1日
至 令和 6年 3月 31日

(単位 千円)

科 目	金 額
売 上 高	4,413,406
売 上 原 価	4,384,875
売 上 総 利 益	28,531
販売費および一般管理費	14,761
営 業 利 益	13,770
営 業 外 収 益	39,072
(その他営業外収益)	(37,290)
営 業 外 費 用	246
経 常 利 益	52,595
特 別 損 失	—
税 引 前 当 期 純 利 益	52,595
法 人 税 等	23,915
法 人 税 等 調 整 額	△ 6,080
当 期 純 利 益	34,760

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

貸 借 対 照 表

令和 6 年 3 月 31 日現在

(単位 千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流 動 資 産	1,242,100	流 動 負 債	594,072
現金および預金	8,685	買 掛 金	474,832
売 掛 金	378,876	未 払 金	715
仕 掛 品	64,960	未 払 費 用	63,014
原材料・貯蔵品	77,416	未 払 法 人 税	16,773
未 収 入 金	63,363	未 払 消 費 税	11,999
連結預け金(預金)	648,782	預 り 金	1,705
前 払 費 用	18	賞 与 引 当 金	25,034
固 定 資 産	345,997	固 定 負 債	29,631
有形固定資産	328,063	退職給付引当金	29,631
建 物	56,851		
機 械 装 置	262,558		
車 両 運 搬 具	2,322		
工 具 器 具 備 品	6,332	負 債 合 計	623,703
投資その他資産	17,934		
繰延税金資産	17,934		
		純 資 産 の 部	
		株 主 資 本	964,394
		資 本 金	50,000
		利 益 剰 余 金	914,394
		特別償却積立金	5,471
		圧縮記帳積立金	6,844
		繰越利益剰余金	902,079
		(うち当期純損益)	(34,760)
		純 資 産 合 計	964,394
資 産 合 計	1,588,097	負 債 純 資 産 合 計	1,588,097

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。